

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	その他専門店〔酒〕（経営者） 通信会社（管理担当） 美容室（経営者）	来客数の動き 販売量の動き 来客数の動き	・花見の客が少しずつ増えているため、少し来客数が多い。 ・販売価格の低減化により、販売数が前年に比べやや増加している。 ・卒業式などの行事が多いので来客数は多い。しかし、例年に比べると決して良いとは言えない。	
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き		・3月初旬の商店街全体のイベントにおいて、かなりの人出があり、そこそこ春物も売れた。しかし、まだまだ景気が回復基調にあるとは言えない。
		商店街（代表者）	それ以外		・政治の混迷が悪影響を及ぼしており、景況の先が読めない。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き		・高速道路料金の引下げで観光客が増えており、お土産の売上が前年に比べて伸びているものの、地元の人々の消費は伸びていない。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き		・相変わらず定価の商品の動きが悪いが、割引すると動き出す。高額品に限らず購買に慎重さがうかがえる。
		スーパー（店長）	単価の動き		・低価格品や特売品の売上が増加している。節約志向を感じる。値上がり商品は買い控えが継続している。
		コンビニ（総務）	来客数の動き		・直近3か月の客数が前年比ほぼ横ばいで推移している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き		・3月の客数は前年を下回っているが、客単価は前年並みを維持している。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き		・引越し、新入学需要が予想よりも多かったため、前年並みの販売台数に近づいた。しかし、1台当たりの単価は以前より下落した。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子		・高速道路料金引下げがスタートし、ETC取り付けに対する補助金等の政策により、旅行や子供が田舎の両親の所へ、両親が別居の子供の所へといった移動の機会が増える事で、消費が増える。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き		・決算月にもかかわらず、販売量が前年の80%にも満たないような状況で推移している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き		・年明け以降、来客数が競合の激しい店舗を中心に伸びなくなっている。また、客単価も伸びない。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き		・昨年秋以降の景気の落ち込みにより旅行業界は非常に厳しい状況にある。団体旅行の申込も減ってきており、法人の業務出張も確実に減少している。法人需要のウエイトが高いこともあり、景気は良くない。個人旅行も旅行代金の安い韓国旅行の需要は旺盛であるが、他はあまり目立った動きはない。
		タクシー運転手	販売量の動き		・例年、3月に利用客が増加していたが、今年は人の動きが悪い。平日は特に少ない。
	通信会社（企画）	お客様の様子		・依然状況は悪いが、ここ数か月で見ると下げ止まった感がある。	
	観光名所（職員）	来客数の動き		・少しずつ観光客が増えてきている。	
	やや悪くなっている	百貨店（営業担当）	来客数の動き		・昼間の来客数が大幅に減少している。夜になると若者を中心に飲食関係は賑わっているが、小売関係の来客数が、特に平日は、前月と比べ大幅に減少している。
		スーパー（店長）	単価の動き		・景気が悪化するにつれて単価が下落してきている。
		スーパー（企画担当）	単価の動き		・広告の売価に対する客の反応が強くなっており、カテゴリでのポイントセールや日替りの価格訴求広告の集客力が非常に良い。反面、それ以外の日に必要なものしか買わないので、客単価は若干低くなっている。
衣料品専門店（経営者）		来客数の動き		・本州四国連絡橋の料金引下げにより、サービスエリアの話がテレビなどで大きくクローズアップされていた影響からか、3月の第3週以降、売上が大きく減少した。	

		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・年明け以降、前年比10%前後のマイナスが続いているが、3月は春物の動きが悪く、来客数の落ち込みに加え、買上単価の低下が激しい。3月は1～2月を更に上回る20%近い前年割れとなる。
		乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・客の商談時間(日数)がかなり長くなっている。以前は商談開始から1か月以内に契約できていたのが、数か月掛かる場合や、買い控えて車検を受けるケースが多く見られる。
		乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・小型の車への乗り換え志向が軽自動車販売の追い風になることを期待したが、春の需要期ながら、自動車関連税制改正前の買い控えにより、受注状況も前年比89%と大きく落とした。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3月は異動シーズンであるが、売上の前年同月比の落ち込みがかなりひどく、知人でレストランされた人も出てきており、景気の悪さを感じる。
		都市型ホテル (経営者)	単価の動き	・販売単価が下落気味である。また、宴会が小規模になってきている。
		通信会社(支店長)	お客様の様子	・来店客は、品物を見るが、購入しないか、購入しても単品といった具合である。
		設計事務所(職員)	販売量の動き	・年度末を迎え、今期の売上げは激減した。
悪くなっている		商店街(代表者)	来客数の動き	・たまに来る客であっても、買い控えをしている。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・昨年来の来街者数の減少はまだ底を見ていない感がある。また、飲食の減少で客単価も落ちている。社員が経費で飲めなくなったことや若年層の酒離れで、夜の市街地で遊ぶにしてもかなり消費が抑えられてしまっている。
		一般小売店[酒類](経営者)	販売量の動き	・客入りも悪く、消費者の外出を控える傾向はどんどん強まっている。前年より新聞の販売店も始めたが、折込チラシが2割以上減っている。
		一般小売店[書籍](営業担当)	お客様の様子	・新学期セールは、まとめ買いが期待できるが、今年は必要な物、不要な物を厳密に色分けして、不要な物は買わないという客が多く見受けられる。
		一般小売店[酒](販売担当)	それ以外	・最も悪意にしている卸業者の廃業を告知された。
		百貨店(営業担当)	それ以外	・前年同月に比べ来客、売上高共に下回った。ラグジュアリーブランド及びファッション感度の高い商品群が苦戦し、前月同様の状況が継続しているが、当月は宝飾・美術品は若干改善された。
		百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・新規の売出、催事、イベントなどを実施しているが、来客数が前年に届かない。
		スーパー(店長)	お客様の様子	・客がポイント5倍日に集中して、平日に売れなくなってきた。その5倍日でも単価の高い物が売れなくなってきた。一方、酒の売上が2けた伸びている。外食産業が不振で、家で酒を飲む人が増えたのか、ビール類がよく売れるようになった。
		乗用車販売店(役員)	販売量の動き	・3か月前と比較して、販売台数等がだいぶ低下している。現在は前年比約40%、3か月前は前年比約60%だったので、その差の分、悪くなっている。
		観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・歓送迎会、委員会、学会等、景気に左右されないものは例年並みにあるが、旅行者が減っており、それに伴い宿泊人数が減っている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前と比べ、客の絶対数が減少している。
		ゴルフ場(従業員)	来客数の動き	・来場者が少なくなってきた。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・前年同月と比較して、今年は卒業シーズンの割には来客数が少なく、来店客の様子を見ても、単価を抑えた内容が多い。
	企業動向関連	良くなっている	-	-
やや良くなっている		通信業(部長)	受注量や販売量の動き	・販売数量は前年比及び前月比で見ても底堅い動きとなっており、3か月前と比べても販売数量の持ち直し傾向が出てきている。ただ、低価格商品に向いており、このまま一直線に回復軌道に乗るとは考えにくい。

	通信業（営業担当）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・定額給付金や高速道路料金引下げなどのプラス要因に加え、生活防衛、個人消費の控えについても我慢の限界に近付いて来たのか、おしほりリース会社の経営者から「一部のエリアで土・日の注文が本州四国連絡橋通行料金が引下げになって以降急増している。」や、複数の建設業のマネージャーから「儲けは少ないが仕事が途切れなくなった」などの明るい話を聞くことが多くなってきた。
	公認会計士	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・関与先の決算や月次の試算表等をみると、この2、3か月前よりは、少し良くなっており、下落傾向が弱まっている。若干、底を打ってきたのではという兆しを感じられる。
変わらない	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・相変わらず低価格帯での競争が続いている。
	輸送業（社員）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として製紙業界においては生産調整を実施しており、回復のめどが立たない状況である。自動車関連及び輸出関連企業においても出荷数量が減少している。
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末ということもあり、一番の繁忙期である。稼働率は常に100%を超えているが、受注価格の低下から利益確保に頭を悩ませる状態である。同業他社は、機械が回っていないところもある。
やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	競争相手の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の大手寝具問屋が経営破綻し、民事再生法の申請をした。当地でも数社が売掛債権を保有しており、産地としても痛手である。それほど市況が悪化、また金融情勢が逼迫している状況であり、今しばらくの景況感は非常に良くない。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・高所作業車は、レンタル各社において一番の需要期であるこの時期に、レンタル車両が大量にヤード内で眠っている状況である。年度末にもかかわらず、大型クレーンについても仕事量の確保ができず、チャーター料金の引下げ競争となっている。
	広告代理店（経営者）	取引先の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・車、流通、不動産等幅広い分野の得意先の販売不振により広告費が削減されている。
悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の小売店、スーパー、ホームセンター、ドラッグ等の商品の動きが悪く、小売店より値下げ要求が非常に強い。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・設備部門は受注残も終わり、本当に皆無である。引き合いの話がやっとできたという案件はあるが、その他は全滅である。環境部門は非常に好調である。太陽光発電パネルの販売は、例月に比べて売上は2倍程度である。しかし、トータルで見ると微々たるものであり、景気は非常に悪い。
	建設業（総務担当）	それ以外	<ul style="list-style-type: none"> ・地価の公示価格が発表された。前回まで、上昇傾向にあった当地区も、今回再び下落した。当社が斡旋していた土地の売買も値が合わず、入札流れとなった。
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・企業から送られてくる新4年生対象の求人数や求人数件数は、前年と比べてもそれほど悪くはない。
やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・業績の先行き不透明感が続くなか、採用は全般に低調で様子見状態である。即戦力を期待する中途採用のニーズは前年比約60%減の状態である。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用調整についての相談が増加している。
悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・今月は教育学習支援業、複合サービス業、公務を除く他の全ての産業で減少となった。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・特に不動産広告が激減している。マンション販売は多少出稿されているようだが、売家、宅地共に低調である。業者によると、たまに購入希望者があっても、以前ならローン審査を通過していた層が金融機関の審査が通らなくなっているとのことである。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・2月の新規求職者は、全年齢層で増加がみられ、特に中高年の増加率が目立った。自動車関連では、リストラ及び休業が続いているが、運輸やその他の産業にも雇用調整が広がってきている。

	民間職業紹介機関（所長）	雇用形態の様子	・直前まで求人依頼があった企業が、景気悪化のため求人を今回は見送りたいという例が増えてきている。また、今までの取引先企業でも、有料での採用が難しいので、ハロ-ワ-クに切り替えるという企業が、この3か月間で増加した。
--	--------------	---------	---